④つづきウォーク＆フェスタの共催等イベントによる緑道のＰＲ

第１部会にとっては、多くの区民と一緒に現実の空間で緑道のあり方を考える必要があること、また、既存の緑道愛護会にとっては、大きなイベント開催を通して緑道愛護会活動のアピールができることから「緑道の魅力をＰＲするためのイベント」として、毎年 11 月 23 日につづき発見ウォーク実行委員会主催で行われている「つづきウォーク＆フェスタ」を共催で実施した。

１）企画の目的

イベント参加者や通りかかった区民を対象に、緑道愛護会などと協力し、楽しい要素（緑道の魅了）を前面にアピールし、イベントを膨らませながら、多くの区民に緑道について考えていただくと共に、第１部会が考える緑道のあり方について理解いただくことを目的とした。

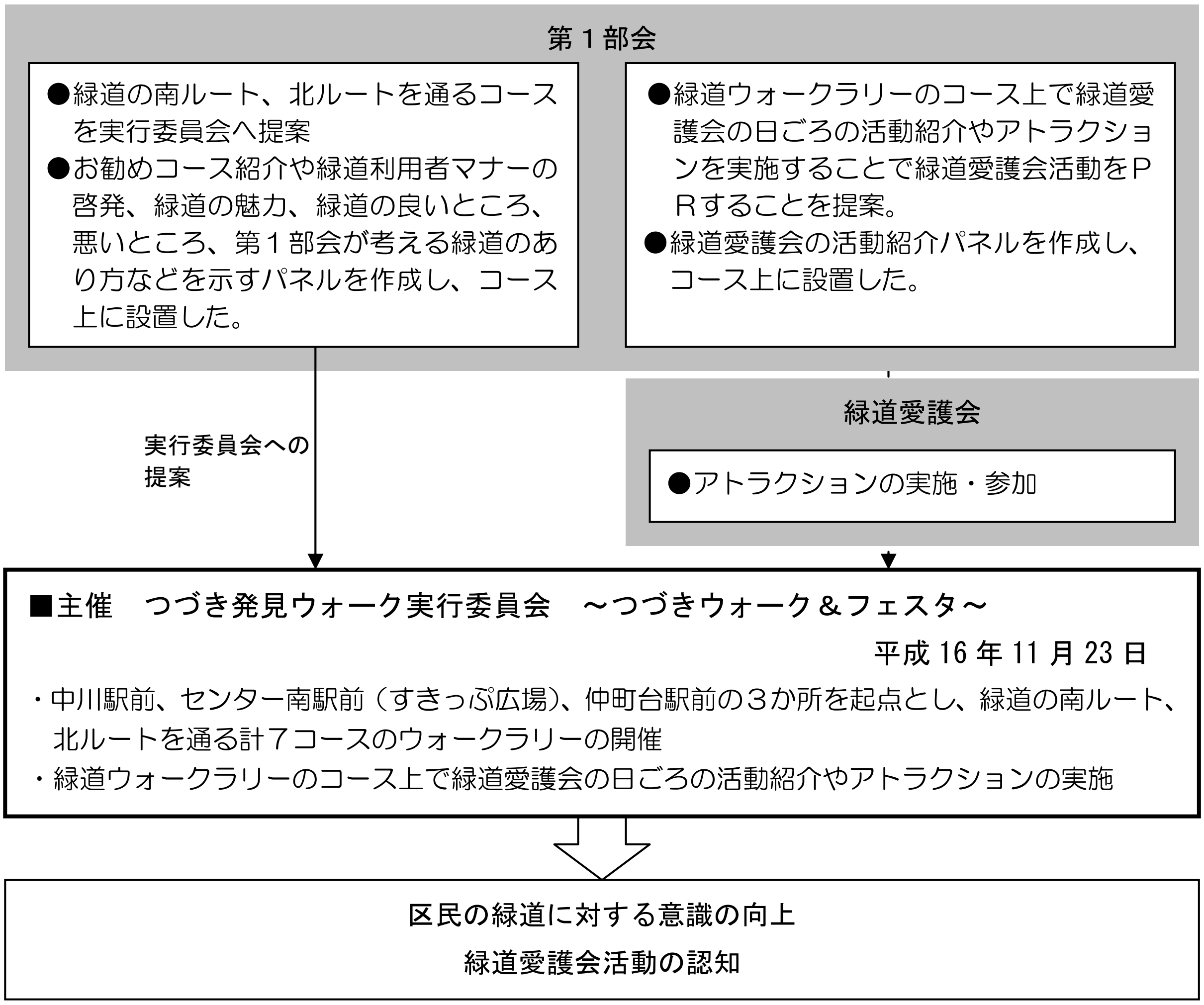
２）企画の内容

第１部会では、「パネル展」「ポスターセッション」さらに、緑道絵画の公募、展示を実施することとした。また、「つづきウォーク＆フェスタ」を開催する「つづき発見ウォーク実行委員会」に緑道ウォークラリーのコース提案を、緑道愛護会懇談会を通して緑道愛護会にイベントでのアトラクション参加を提案した。

３）パネルの作成・展示（合計 10 枚）

参加型のアトラクションとして、お勧めコース紹介や緑道利用者マナーの啓発、緑道の魅力、緑道の良いところ、悪いところ、第１部会が考える緑道のあり方などを示すパネルを計 10 枚作成し、緑道ウォークラリーのコース上ほか各イベントの際に設置・展示を行った。

図－３．つづきウォーク＆フェスタ共催の活動の流れ



タイトルパネル

１．つづき水と緑の散策路
ネットワーク

２．お勧めコース～ふるさとの橋
を見ながら散策コース

３．お勧めコース～ぐるり
と大周り健脚コース

４．お勧めコース～じっくり
魅力探検コース

５．今日歩いた緑道の良かっ
たところは？

５´．今日歩いた緑道の良く
なったところは？

６．緑道の魅力について
考えました

７．緑道の問題

８．緑道の魅力

９．緑道愛護会の活動

【これまでにおこなわれたパネル展示会】

・つづきウォーク＆フェスタ事前パネル展示会　平成 16 年 11 月 15 日～11 月 22 日
　会場：都筑区総合庁舎１階ホール
・つづきウォーク＆フェスタ当日パネル展示会　平成 16 年 11 月 23 日
　会場：センター南すきっぷ広場
・都筑中央公園バラ祭りパネル展示会　平成 17 年５月 19 日
　会場：都筑中央公園
・東山田中学校コミュニティハウスグリーンサポーター研修パネル展示会
　平成 17 年６月 21 日　会場：東山田中学校コミュニティハウス
・大塚・歳勝土遺跡公園いっぷくまつりでのパネル展示　平成 17 年９月 21 日
　会場：大塚・歳勝土遺跡公園

つづきウォーク＆フェスタ当日パネル展の様子

都筑中央公園バラまつりにて

大塚・歳勝土遺跡公園いっぷくまつり

４）緑道絵画の展示

平成 16 年9月 15 日～10 月 15 日の期間、「公園とそれを結ぶ道（グリーンマトリックス）」をテーマに作品を募集したところ、11 作品の応募が寄せられた。つづきウォーク＆フェスタでは、それらの作品を緑道ウォークラリーのゴール直前にある都筑中央公園レストハウスにて展示した。

５）緑道愛護会などの活動紹介

平成 16 年 11 月 23 日のつづきウォーク＆フェスタにおいては、各ウォークラリーのコース上でそれぞれの緑道愛護会ごとにアトラクションブースを設置し、第１部会と共同で愛護会の活動紹介等を行った。

<table>
<tr><td>くさぶえのみち(牛久保西二・三丁目)愛護会</td><td>ささぶねのみち(荏田東四丁目)愛護会</td></tr>
<tr><td>活動紹介
飲み物のふるまい、柿・野菜の販売
 </td><td>活動紹介
ポップコーン　ふるまい
 </td></tr>
<tr><td>ささぶねのみち(荏田東二丁目)愛護会</td><td>茅ヶ崎公園愛護会</td></tr>
<tr><td>臨時喫煙所、ポイ捨て禁止キャンペーン
山野草の保護活動
 </td><td>花壇づくり
川の環境改善活動
 </td></tr>
<tr><td colspan="2">茅ヶ崎公園　生態園管理運営委員会</td></tr>
<tr><td colspan="2">もみすり精米、お汁粉ふるまい</td></tr>
<tr><td>港北ニュータウン緑の会</td><td>都筑中央公園　里山倶楽部</td></tr>
<tr><td>活動紹介
竹林管理で伐採した竹を使ったバームクーヘンづくり、販売
 </td><td>活動紹介
竹林管理で伐採した竹から作った竹炭を使った焼き芋づくり、販売
 </td></tr>
</table>

６）つづきウォーク＆フェスタの検証

　イベント参加者からいただいた意見をまとめて報告ポスター（下図）を作成し、緑道利用者や緑道愛護会とともにその検証をおこなった。

　毎年１万人以上が転入する都筑区において、緑道がどういった構想で作られたものかを知らない人がどんどん増えており、今回のパネルをポスターにして緑道掲示板に掲出するなど、広く区民にＰＲし、緑道を知って、大切にしようという意識を持ってもらい、さらに多くの区民の意見を聞いていくことを確認した。

【実施の成果を検証】

・パネルづくりを通して、第１部会が考える緑道のあり方をより深く確認できた。
・緑道愛護会の方に、第１部会の提案に応える形で協力いただくことができた。
・日ごろの活動では、直接、区民と触れ合う機会がない緑道愛護会の方も、今回のイベントを通して区民と触れ合うことができた。
・イベント参加者など区民、緑道利用者からご意見をいただき、多くの方が緑道に対して「自然豊かなきれいなところ」という印象をもっていることがわかった。一方で、暗くて怖い、禁止されているバイクが乗り入れてきて危険、せせらぎの水がかれているなど改善を求める意見も出た。
・イベント開催と平行して、５か所の緑道掲示板を上手く活用できた。

（掲載内容）

イベント開催や緑道絵画の募集の告知ポスター

お勧めコースと第１部会の緑道に対する考え方をまとめたチラシ

参加者意見をまとめた報告ポスター

図－４．イベント参加者の意見をまとめた報告ポスター

⑤緑道の利用状況調査

第１部会で緑道の魅力について検討した結果、緑道の進むべき方向は、“道”としての単なる利便性の追求ではなく、自然豊かな公園として、その自然環境を守り育てていく視点も重要であると考えた。

この検討結果に対して、現在の利用状況を把握するため、平成 17 年7月 19 日～29 日の間で日ごろ緑道の清掃活動等を行っている緑道愛護会を対象に、緑道の利用状況調査を実施した。

１）調査概要

【利用状況の調査】

・愛護会活動エリアごとに、平日朝夕、平日昼間、休日の３つの時間帯において、公園（散歩・ジョギング、子どもの遊び場等）としての利用頻度

・生活道（通勤・通学、買い物への通路等）としての利用頻度

【管理への意向調査】

・愛護会活動エリアごとに、照明、舗装、植栽の管理に対する意向

【課題・問題点】

・マウンテンバイク及びバイクの進入対策、その他自由回答

２）調査結果

緑道の利用状況は、平日朝夕は生活道、平日昼間及び休日は公園及び生活道という、時間帯による利用傾向は全域で共通だったが、特に、せきれいのみち・ゆうばえのみちでは平日昼間及び休日も生活道として利用されていることを把握した。

各愛護会から共通して挙げられた緑道の課題は、第１部会で検討した課題と同様、バイク進入、犬の糞の放置、ポイ捨て等であり、緑道全体で一体となって課題解決に取り組む必要性を把握した。

図－５．緑道の利用状況調査票

（調査票）

愛護活動を担当されているエリアの緑道について、教えてください。

１．次の時間帯ごとに、緑道はどのように「使われて」いますか。
該当する欄に◎○△をつけてください。
（◎：よく利用されている ／ ○：利用されている ／ △：たまに利用されている。）

	平日の朝・夕	平日の昼間	休・祝日
通勤路として			
通学路として			
買い物等の通路に			
散歩・ジョギング等に			
子供たちの遊び場			
他（　　　　　　）			

２．「植栽の密度」について、適切な間伐は樹木管理面から必要ですが、
貴愛護会の活動エリアの植栽は、どのようにした方が良いと思いますか。
該当する欄に○をつけてください。

	ツツジ等低木の場合	高木の場合
現状で良い。		
間伐した方が良い。		
もっと植栽した方が良い。		
植え替えた方が良い。		
→ *どのような木が良いか、ご意見がありましたら、ご記入ください。*		

３．「植栽の剪定」について、適切な剪定は植栽・樹木管理面から必要ですが、
貴愛護会の活動エリアの植栽は、どのようにした方がいいと思いますか。
該当する欄に○をつけてください。

	ツツジ等低木の場合	高木の場合
剪定を強化した方が良い。（例えば、見通しが良くなり、犯罪や不法投棄の防止に役立つ。等）		
剪定を最小限にとどめた方が良い。（例えば、全国的にも例のない街中の自然公園としての特徴を保全できる。等）		

４．「植栽の草刈り」は、どのようにした方がいいと思いますか。
該当する欄に○をつけてください。

	草刈りを徹底した方が良い。（例えば、ゴミ捨ての防止にも役立つ。等）
	草刈りはあまりしない方が良い。（例えば、緑道の草は雑草ではなく野草なので、草で季節感を感じることができる。等）

５．「舗装」は、どのようにした方がいいと思いますか。
該当する欄に○をつけてください。

	現状で良い。
	舗装を増やした方が良い。（例えば、段差がなくなり、乳母車や高齢者も利用しやすくなる。等）
	舗装を最小限にとどめた方が良い。（例えば、土がなくなると生物の多様性が失われる。都市の中で土の感触は貴重。等）
	舗装を替えた方が良い。
	→ *どういう風に替えた方が良いか、ご希望がありましたらご記入ください。*

６．「照明灯」は、どのようにした方がいいと思いますか。
該当する欄に○をつけてください。

	現状で良い。
	照明灯をもっと増やし、明るくした方が良い。（例えば、夜間も安心して通れる。等）
	照明灯は、最小限にとどめた方が良い。（例えば、植物の生育には夜間、暗い必要がある。等）

７．オートバイやスポーツ用マウンテンバイク等が緑道を通ることについて、
貴愛護会の対策や考え方を教えてください。

８．現在困っていることや問題点・改良したい点、愛護会のあり方等、
ご意見・提案等がありましたら教えてください。

7月29日（金）までに、区役所へ送付くださいますようお願いします。

⑥夜間の現地検証

「防犯に配慮した緑道管理計画」検討会に参加するにあたり、夜間の緑道がどれくらい暗いのか、照明の増設が必要なほど暗いのかを確認するため、平成 17 年 10 月 17 日の夜間（19：00～20：00)、ゆうばえのみち（月出松公園）～ささぶねのみち（葛が谷公園までの区間）を歩いて検証した。

１）夜間の現地検証概要

①夜間（主な社会人の帰宅時間）に人通りはあるか。

②代替ルートはあるか。

③中低木は育ち過ぎているか。（剪定または伐採の対象か。）

２）夜間の現地検証結果

検証時は、歩行者は少なく、無灯の自転車の通行が多いという状況であった。現地検証の結果、第１部会としては、照明などの改善が必要な箇所は数箇所にとどまり、自転車の点灯や歩行者もライト常備する等通行者自身のソフト面の安全対策が必要と考えた。

⑦「防犯に配慮した緑道管理計画」検討会への参加

「防犯に配慮した緑道管理計画」検討会に参加し、15 年度からの検討内容や今年度行った緑道の利用状況調査及び夜間現地検証の結果をもとに、第１部会から緑道管理のあり方を提案した。

『緑道はグリーンマトリックスの一部として区民の貴重な地域資源であり、自然豊かな公園として守り育てたいということ、緑道の安全確保には照明増設等ハード面だけでなく、夜間の通行自粛やライトの常備等ソフト面の対策が必要』

・検討箇所　　　ゆうばえのみち、ささぶねのみち
・開催日　　　　平成 18 年２月 11 日（日）、３月４日（日）
・検討メンバー　愛護会、自治会町内会、校外委員、第１部会委員
・検討内容　　　第１回　危険箇所の洗い出し
　　　　　　　　第２回　植栽管理、照明の灯具交換や増設等対策を講じる内容の確認

（検討会の様子）